

第3章

日常生活圏域

第3章 日常生活圏域

1 日常生活圏域の設定

日常生活圏域とは、高齢者が介護を必要とするようになっても住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地理的条件や人口、交通事情その他の社会的条件、介護サービス事業所の整備状況等を総合的に勘案して定める区域のことです。また、その区域は、高齢者の住まいから30分以内に必要な介護サービスが提供される区域と定められています。

本計画においては、第9次計画と同様に、4つの圏域を設定します。各圏域に設置している地域包括支援センター（市内11か所）を核とした地域包括ケアシステムの推進を図り、高齢者保健・福祉施策をさらに充実させていきます。

(1) 日常生活圏域別高齢者人口

圏域名	総人口（人）	高齢者人口（人）			高齢化率（%）
		総数	65～74歳	75歳以上	
西部	53,310	17,568	7,925	9,643	33.0
北部	59,531	16,333	7,418	8,915	27.4
中央	42,775	14,321	6,407	7,914	33.5
南部	32,997	12,761	5,504	7,257	38.7
全市計	188,613	60,983	27,254	33,729	32.3

資料：「住民基本台帳（令和5年3月末時点）」

(2) 日常生活圏域別介護度別認定者数及び出現率

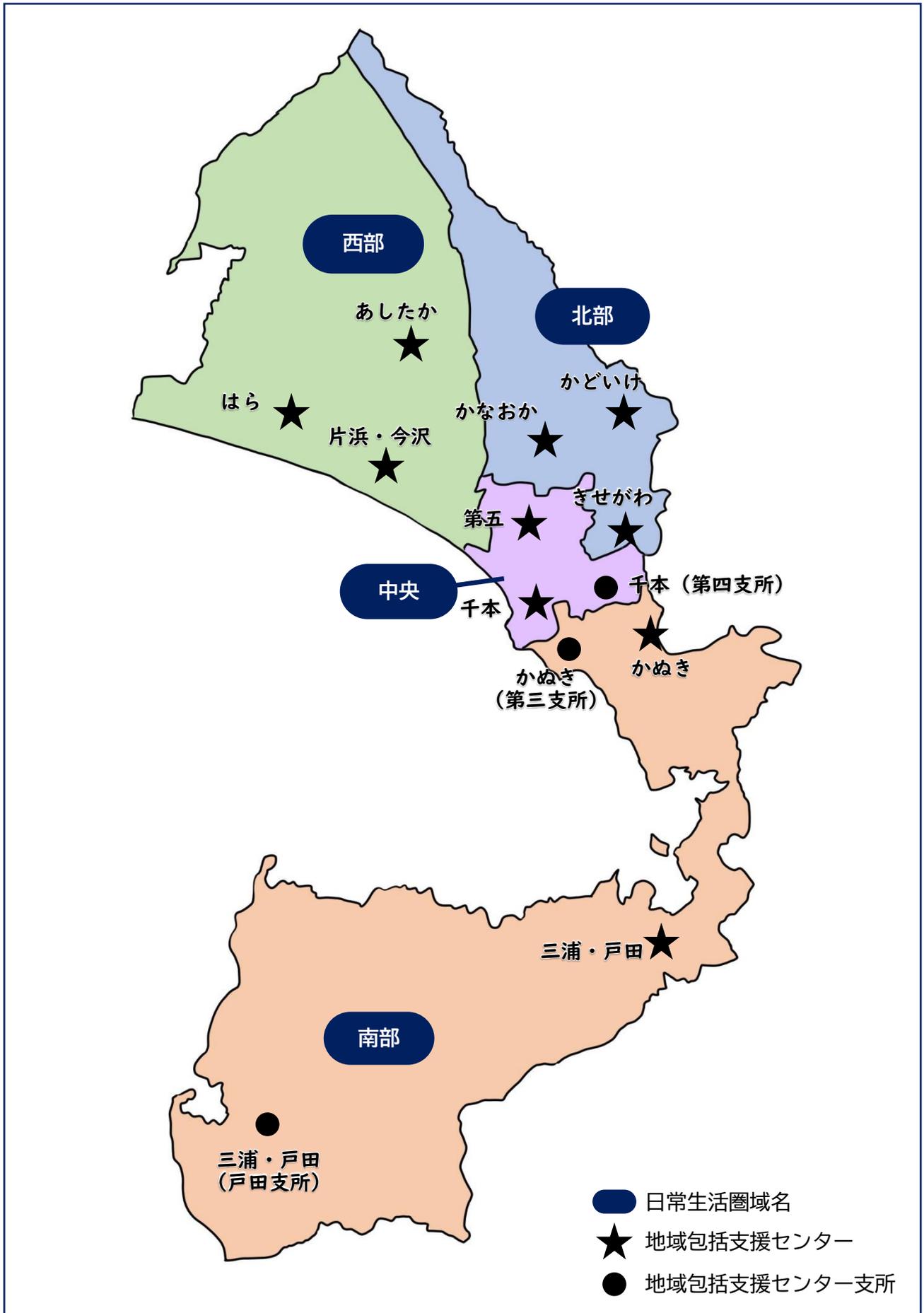
圏域名	要支援1（人）	要支援2（人）	要介護1（人）	要介護2（人）	要介護3（人）	要介護4（人）	要介護5（人）	認定者計（人）	出現率（%）
西部	361	517	502	416	299	286	171	2,552	14.5
北部	306	480	492	410	317	268	155	2,428	14.9
中央	367	487	431	368	287	221	120	2,281	15.9
南部	323	480	388	335	257	241	137	2,161	16.9
全市計	1,357	1,964	1,813	1,529	1,160	1,016	583	9,422	15.5

（令和5年3月末時点）

《参考》

圏域名	地区	圏域名	地区
西部	原・浮島・愛鷹・今沢・片浜	北部	金岡・大岡・門池
中央	第一・第二・第四・第五	南部	第三・大平・静浦・内浦・西浦・戸田

<日常生活圏域図>



2 地域包括ケアシステムの基本的な考え方

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための包括的な支援体制のことです。5つの要素「住まい」、「医療」、「介護」、「介護予防」、「生活支援」から構成されており、高齢者の生活を総合的に支援する体制となっています。また、元気な高齢者への支援だけでなく、例え介護を必要とする状態になったとしても、切れ目なく支援を継続できる体制となっており、今後の高齢者の増加に対応するための重要な支援体制として位置づけられています。

地域包括ケアシステムは、地域包括支援センターを中心に、日常生活圏域ごとの地域課題の解決に向けて対応することで、地域における高齢者の支援体制を充実させていきます。また、地域包括ケアシステムの推進には、自助・互助・共助・公助の4つの助が連携することが大切であり、高齢者の生活を支援する上で立場や状況に応じた対応をすることが求められています。

さらに、この地域包括ケアシステムは、地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤としても位置づけられています。地域共生社会とは、地域におけるあらゆる主体（地域住民や事業所、企業、学校等）が属性や立場を超えてつながり、支え合うことで一人ひとりの生活や生きがい等をともに創っていく社会のことです。地域包括ケアシステムが地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤に位置づけられた背景には、今後さらに少子高齢化が進み、高齢者を支え続けるだけの人材の確保が難しくなることがあります。また、高齢者に限らず、困った時に支援を求めることができる体制の1つとして、地域における支え合いの必要性は今後一層高まっていくと考えられています。

今後は、他の福祉分野との連携を図りながら、地域の特性と課題に対応した地域包括ケアシステムをより深化させることで、高齢者だけでなく、障がいのある人や子ども等、市内に住むすべての人が地域で支え合えることのできる地域共生社会の実現に向けた取組を進めていきます。

<地域包括ケアシステムを支える4つの助>

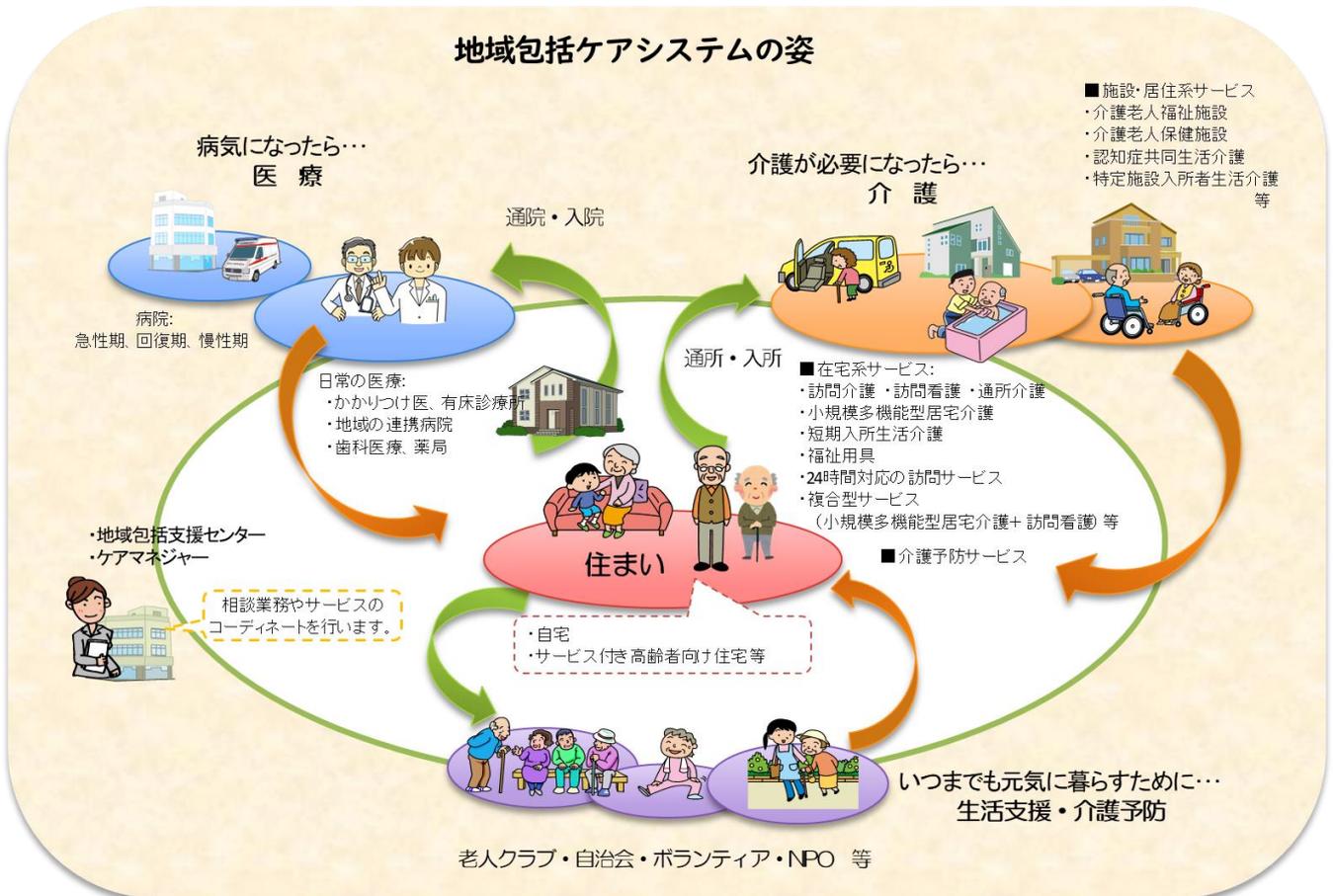


※平成 25 年 3 月 厚生労働省 地域包括ケア研究会報告書

<地域包括ケアシステムのイメージ図>



地域包括ケアシステムの姿



資料：厚生労働省

3 日常生活圏域カルテ

日常生活圏域の現況を整理し、地域の特性と課題を検証します。

【西部】

1 地域包括支援センターの名称	はら	あしたか	片浜・今沢	計
2 人口の状況（令和5年3月末）				
(1) 総人口（人）	23,428	15,234	14,648	53,310
(2) 高齢者人口（人）	7,889	4,718	4,961	17,568
65歳～74歳（人）	3,637	2,145	2,143	7,925
75歳以上（人）	4,252	2,573	2,818	9,643
(3) 高齢化率（％）	33.7	31.0	33.9	33.0
(4) 要支援・要介護認定者数（人）	1,120	631	801	2,552
(5) 出現率（％）	14.2	13.4	16.1	14.5

【人口の推移と構成】

年度	非高齢者	65～74歳	75歳以上	高齢化率(%)
令和2年度	37,091	8,541	9,134	32.3
令和3年度	35,528	8,823	9,695	34.3
令和4年度	35,742	7,925	9,643	33.0

【要支援・要介護認定者数の推移と構成】

年度	要支援1	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	出現率(%)
令和2年度	334	474	447	427	372	345	14.7
令和3年度	339	467	449	418	358	380	14.2
令和4年度	361	517	502	416	299	286	14.5

資料：「住民基本台帳（各年度3月末時点）」

3 地域資源

(1) 医療機関（か所）

病院・医科診療所	17	14	4	35
歯科診療所	12	5	6	23

(2) 活動場所や通いの場（か所）

通いの場（登録高齢者サロン含む）	22	7	10	39
認知症カフェ	1	1	2	4
市老連加入老人クラブ	0	5	0	5

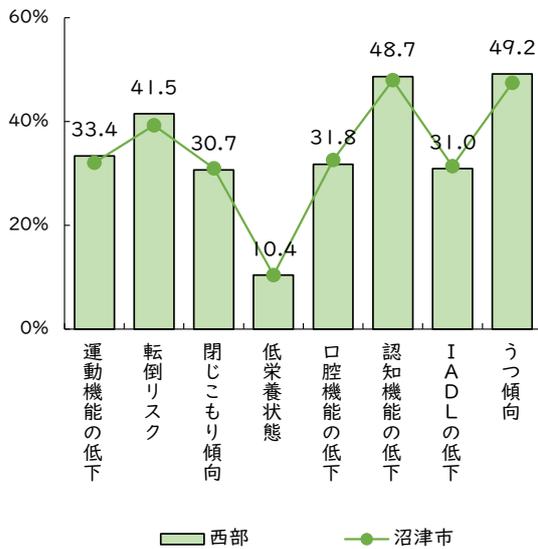
(3) 見守り・安心（件）

高齢者あんしんサポート店	11	7	5	23
高齢者あんしん見守りネットワーク協力事業所	6	4	5	15

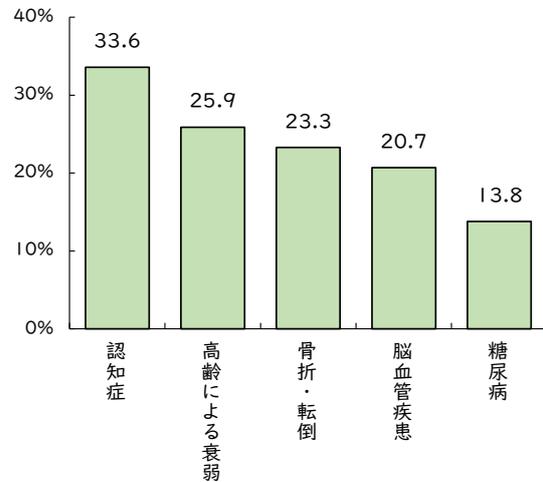
【西部】

4 高齢者の健康状況等

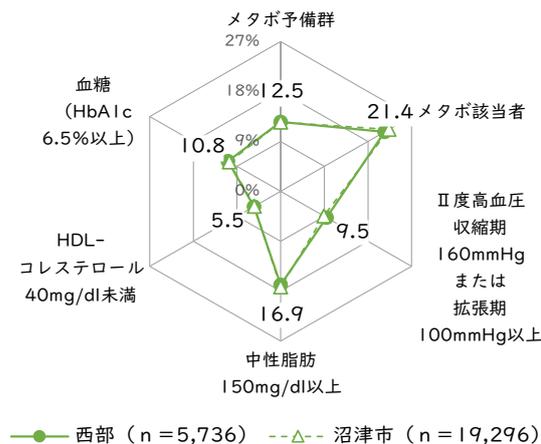
【①各種機能】



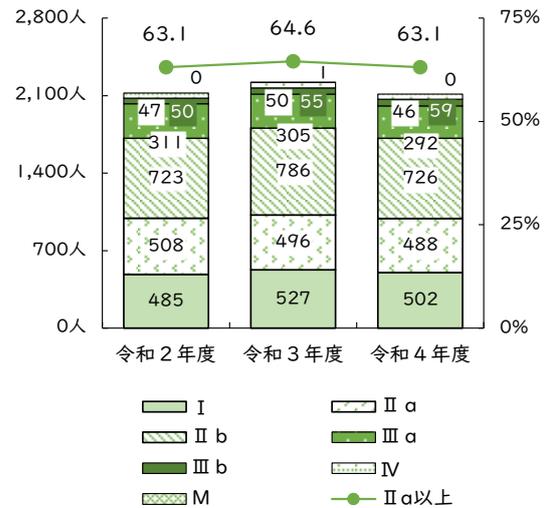
【②介護認定原因疾患<上位5位>】



【③生活習慣病リスク保有状況】



【④認知症高齢者数の推移】



資料：①②「令和4年度沼津市高齢者の生活と意識に関する調査」 ③「令和4年度特定健康診査等の結果」 ④（各年度3月31日現在）（住所地特例該当者等を除く）

5 地域の特性と課題

(1) 地域の特性

高齢者人口が最も多い地域です。出現率は最も低いものの、要支援・要介護認定者数は最も多く、軽度（要支援1～要介護1）と重度（要介護4～5）が多くなっています。介護認定原因疾患は、高齢による衰弱が25.9%と多くなっています。

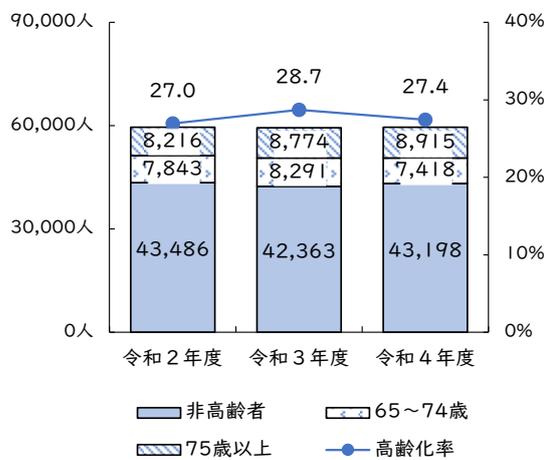
(2) 地域の課題

高齢者人口が多いことに伴い、要介護等認定者も多くなっているため、介護ニーズの急激な上昇を抑えるためには、介護予防の取組を広く浸透させる必要があります。また、圏域内には交通の利便性が悪い地域があることから、外出支援・移動支援を充実させて、高齢者の外出の機会創出に努めなければなりません。他にも、地域の担い手も高齢者となり、これまでの活動が継続できなくなる可能性が高いことから、高齢者サロン活動等の担い手の確保・育成が急がれます。

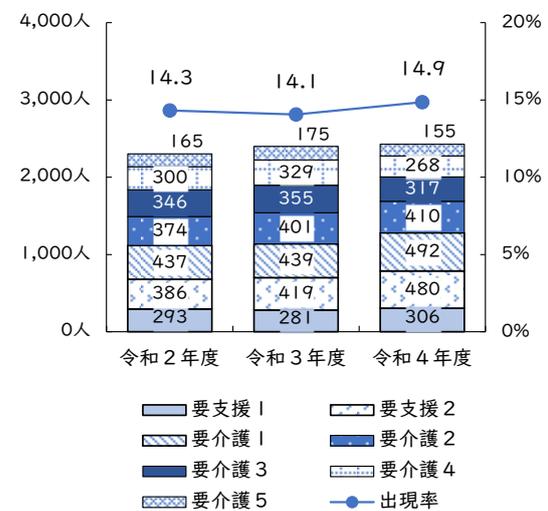
【北部】

1 地域包括支援センターの名称	かなおか	かどいけ	きせがわ	計
2 人口の状況（令和5年3月末）				
(1) 総人口（人）	20,417	19,353	19,761	59,531
(2) 高齢者人口（人）	5,984	5,096	5,253	16,333
65歳～74歳（人）	2,685	2,319	2,414	7,418
75歳以上（人）	3,299	2,777	2,839	8,915
(3) 高齢化率（%）	29.3	26.3	26.6	27.4
(4) 要支援・要介護認定者数（人）	884	767	777	2,428
(5) 出現率（%）	14.8	15.1	14.8	14.9

【人口の推移と構成】



【要支援・要介護認定者数の推移と構成】



資料：「住民基本台帳（各年度3月末時点）」

（各年度3月末時点）

3 地域資源

(1) 医療機関（か所）

病院・医科診療所	19	12	14	45
歯科診療所	6	8	11	25

(2) 活動場所や通いの場（か所）

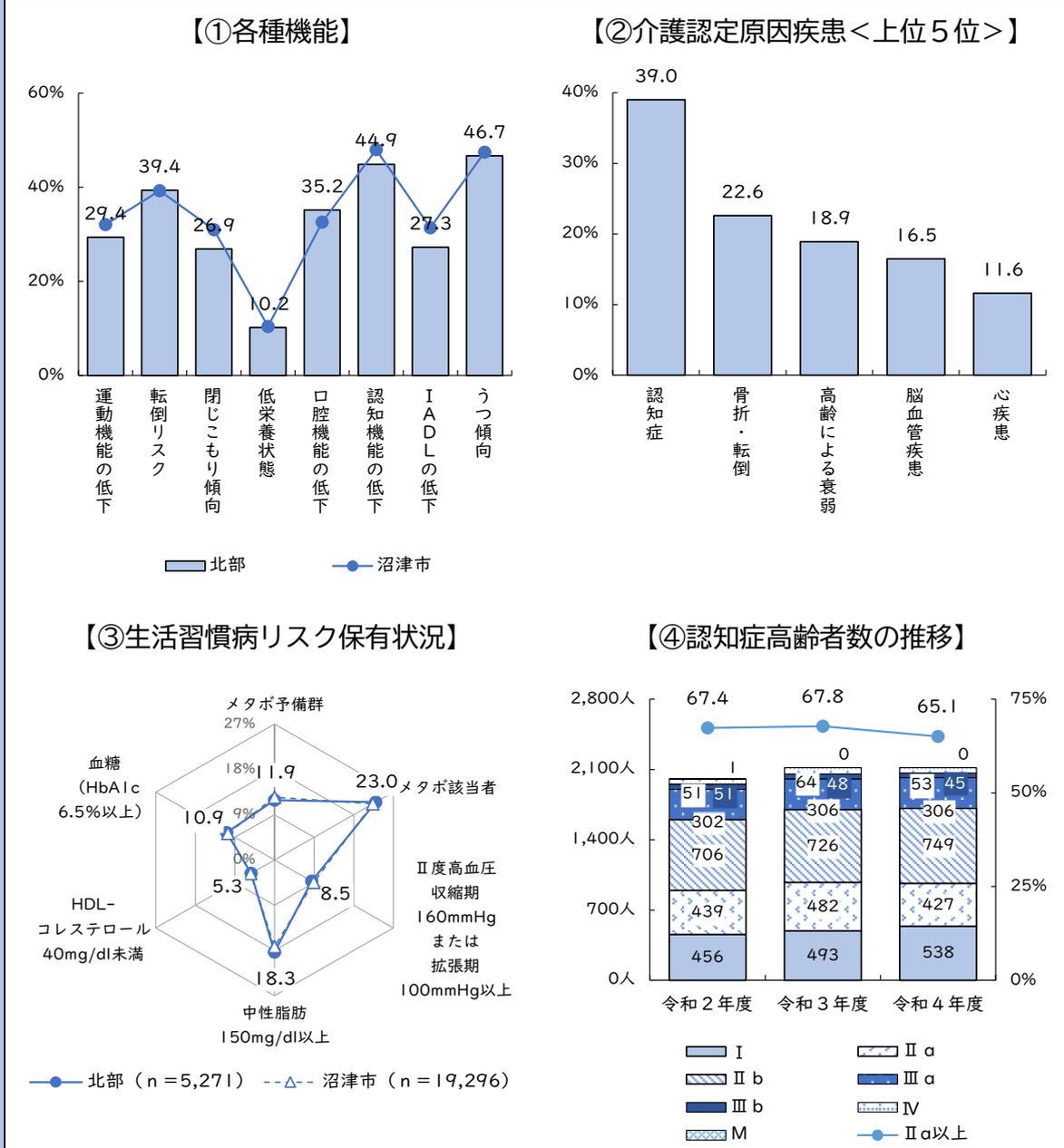
通いの場（登録高齢者サロン含む）	18	3	4	25
認知症カフェ	2	1	1	4
市老連加入老人クラブ	0	4	0	4

(3) 見守り・安心（件）

高齢者あんしんサポート店	7	3	5	15
高齢者あんしん見守りネットワーク協力事業所	2	5	6	13

【北部】

4 高齢者の健康状況等



資料：①②「令和4年度沼津市高齢者の生活と意識に関する調査」 ③「令和4年度特定健康診査等の結果」 ④（各年度3月31日現在）（住所地特例該当者等を除く）

5 地域の特性と課題

(1) 地域の特性

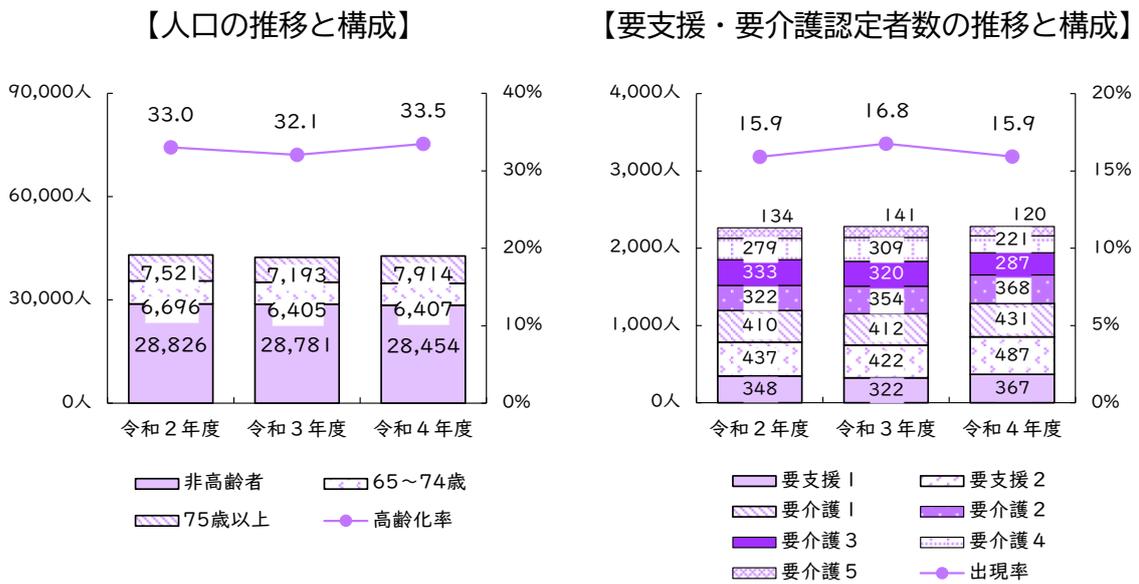
総人口が最も多く、高齢化率が最も低い地域です。しかし、令和2年度からの2年間で後期高齢者人口が699人増加しています。また、要支援・要介護認定者も増加しており、令和2年度からの2年間で127人増加しています。中でも、中度（要介護2～3）が最も多くなっています。さらに、要介護等認定者の中でも何らかの認知症の症状がある方が最も多くなっています。

(2) 地域の課題

現時点では高齢化率が低いものの、高齢者、特に後期高齢者が増加傾向にあることから、介護ニーズの上昇に対応できる体制を整える必要があります。また、比較的若い世代が多いことから、介護予防の重要性を広く周知することで将来的な介護ニーズの抑制にもつながると考えられます。

【中央】

1 地域包括支援センターの名称	千本	第五	計
2 人口の状況（令和5年3月末）			
(1) 総人口（人）	23,982	18,793	42,775
(2) 高齢者人口（人）	8,364	5,957	14,321
65歳～74歳（人）	3,657	2,750	6,407
75歳以上（人）	4,707	3,207	7,914
(3) 高齢化率（%）	34.9	31.7	33.5
(4) 要支援・要介護認定者数（人）	1,348	933	2,281
(5) 出現率（%）	16.1	15.7	15.9



資料：「住民基本台帳（各年度3月末時点）」

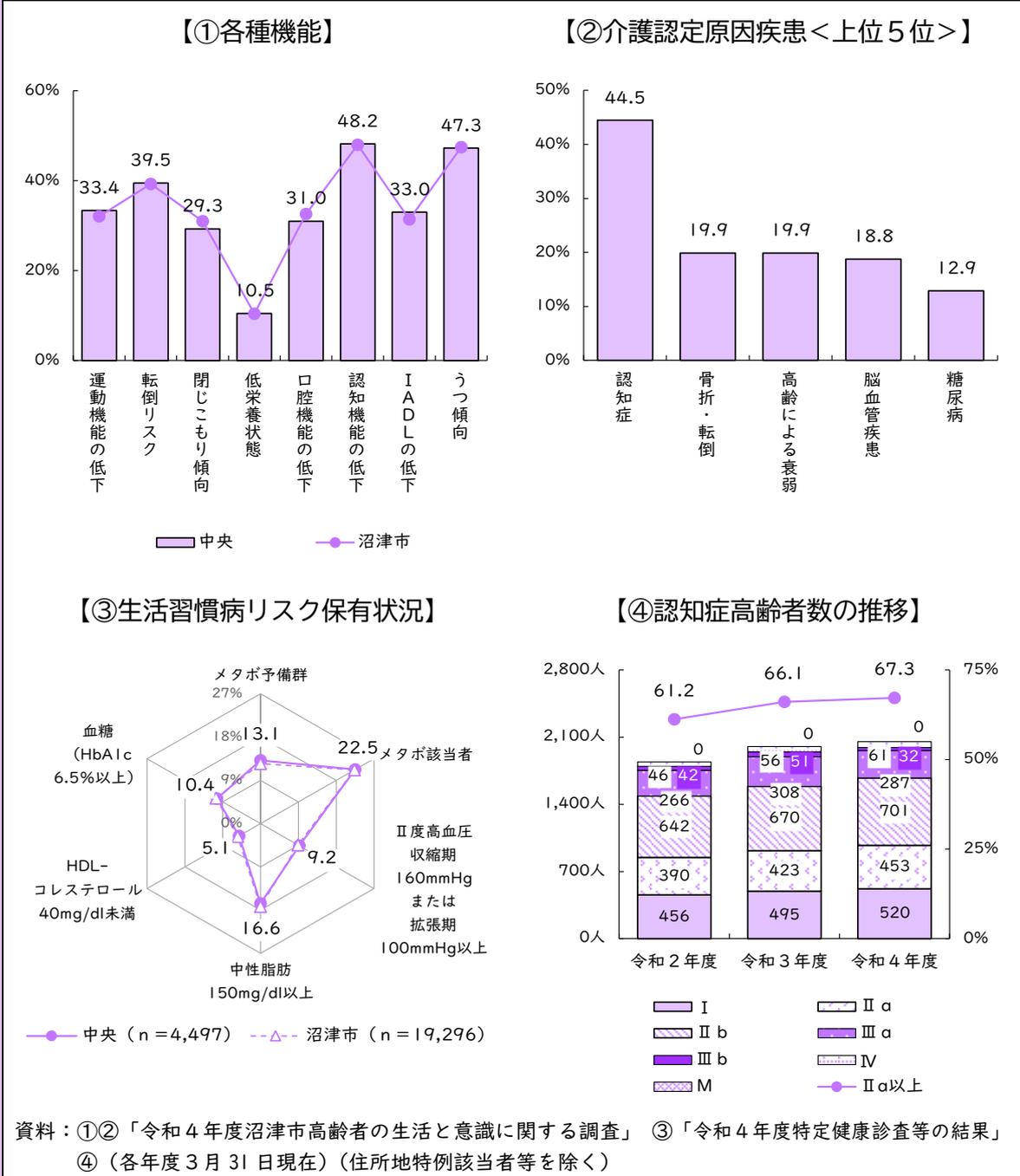
（各年度3月末時点）

3 地域資源

(1) 医療機関（か所）			
病院・医科診療所	39	23	62
歯科診療所	35	26	61
(2) 活動場所や通いの場（か所）			
通いの場（登録高齢者サロン含む）	13	12	25
認知症カフェ	1	1	2
市老連加入老人クラブ	4	4	8
(3) 見守り・安心（件）			
高齢者あんしんサポート店	31	11	42
高齢者あんしん見守りネットワーク協力事業所	20	7	27

【中央】

4 高齢者の健康状況等



5 地域の特性と課題

(1) 地域の特性

2番目に高齢化率が高い地域です。要支援・要介護認定者の出現率も2番目に高くなっていますが、重度（要介護4～5）は最も少なくなっています。介護認定原因疾患は、認知症が44.5%と多くなっています。また、要介護等認定者で認知症の程度がII a以上の方の割合が、67.3%と最も高くなっています。

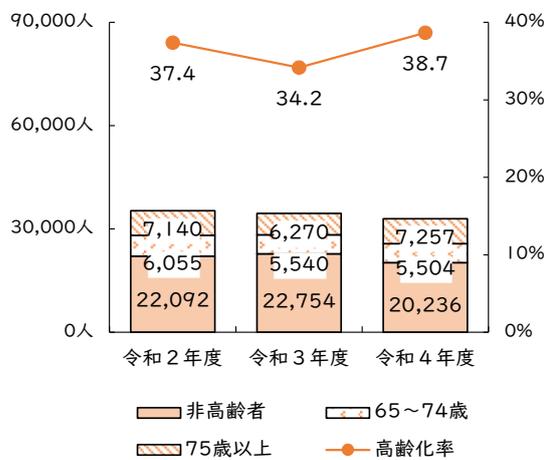
(2) 地域の課題

介護認定原因疾患としての認知症が他圏域より多いことから、認知症高齢者や家族介護者への支援に取り組む必要があります。市内で最も医療機関が多いという特徴を活かして、医療分野と連携した認知症の早期発見・早期対応にも期待がされます。また、旧住民とマンション居住者が混在する地域であるため、今後は住民や管理会社の協力を含めた幅広い支援の検討が求められます。

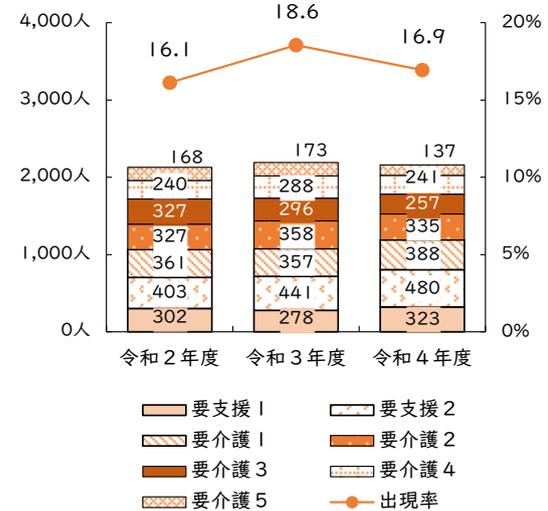
【南部】

1 地域包括支援センターの名称	かめき	三浦・戸田	計
2 人口の状況（令和5年3月末）			
(1) 総人口（人）	22,447	10,550	32,997
(2) 高齢者人口（人）	7,783	4,978	12,761
65歳～74歳（人）	3,395	2,109	5,504
75歳以上（人）	4,388	2,869	7,257
(3) 高齢化率（％）	34.7	47.2	38.7
(4) 要支援・要介護認定者数（人）	1,297	864	2,161
(5) 出現率（％）	16.7	17.4	16.9

【人口の推移と構成】



【要支援・要介護認定者数の推移と構成】



資料：「住民基本台帳（各年度3月末時点）」

（各年度3月末時点）

3 地域資源

(1) 医療機関（か所）

病院・医科診療所	16	7	23
歯科診療所	13	5	18

(2) 活動場所や通いの場（か所）

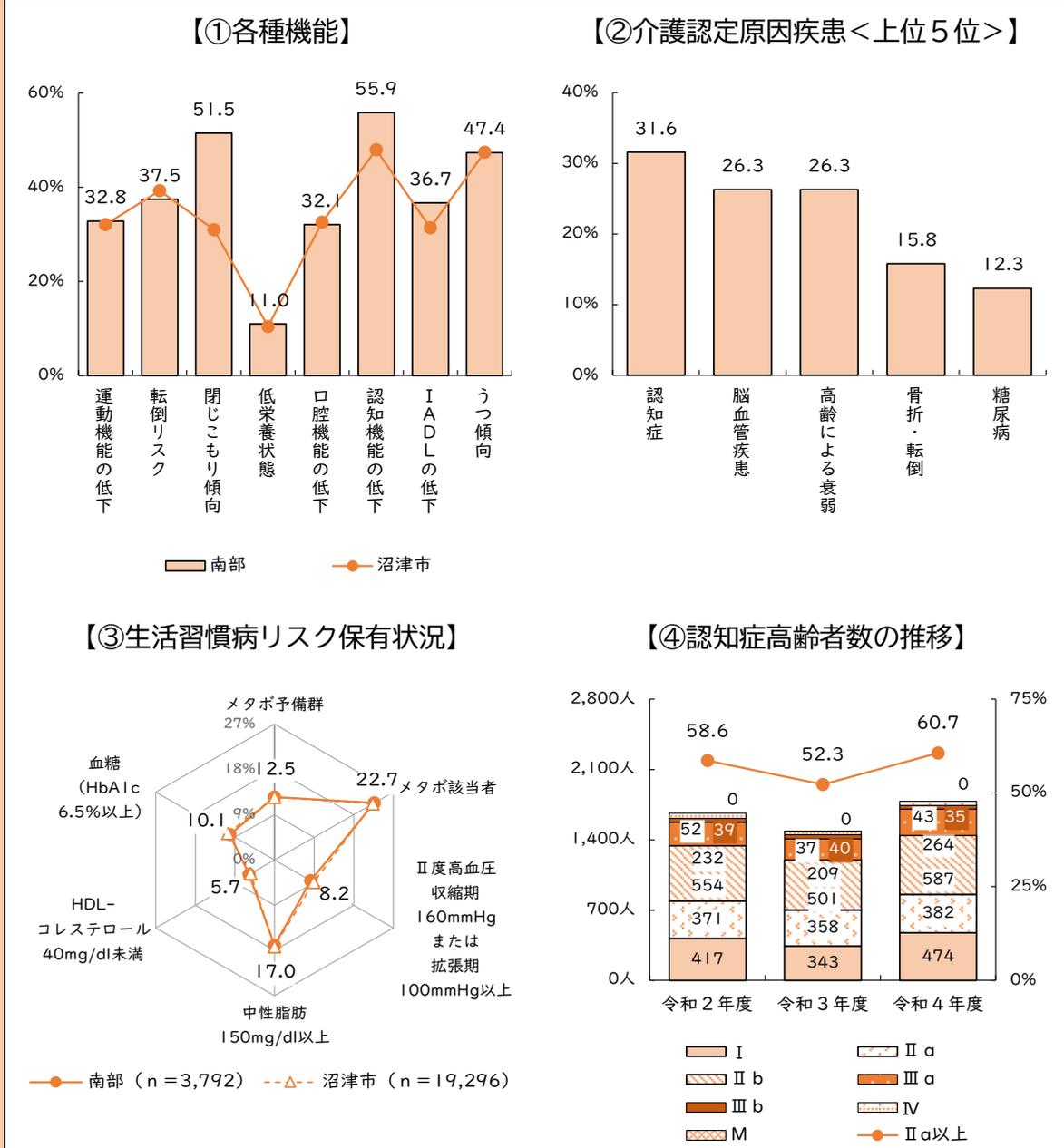
通いの場（登録高齢者サロン含む）	12	5	17
認知症カフェ	2	1	3
市老連加入老人クラブ	17	12	29

(3) 見守り・安心（件）

高齢者あんしんサポート店	10	9	19
高齢者あんしん見守りネットワーク協力事業所	4	5	9

【南部】

4 高齢者の健康状況等



資料：①②「令和4年度沼津市高齢者の生活と意識に関する調査」 ③「令和4年度特定健康診査等の結果」 ④（各年度3月31日現在）（住所地特例該当者等を除く）

5 地域の特性と課題

(1) 地域の特性

総人口・高齢者人口が最も少なく、高齢化率・要介護等認定者の出現率が最も高い地域です。閉じこもり傾向・認知機能の低下・IADLの低下が見られます。介護認定原因疾患は、脳血管疾患・高齢による衰弱が多く、骨折・転倒が少なくなっています。

(2) 地域の課題

農業や漁業等の第一次産業に従事する高齢者が多く、体を動かす機会に恵まれている地域ですが、高齢化率・要介護等認定者の出現率が市内で最も高く、今後は更なる介護ニーズの上昇が見込まれます。一方で、若い世代や店舗等の資源が減少しており、高齢者のニーズに応えるための支援体制の構築に不安が残ります。また、機能低下が最もみられる地域でもあることから、高齢者の介護予防や居場所づくりに取り組む必要があります。